

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
東京都千代田区西神田
東千代田7丁目7番地
電話 (262) 2426・2932
電報 3-36337

航空機を利用する 修学旅行研究見学会

東京私中高協会



客室訓練所を見学する一行

貴重な体験 安全性を再認識

東京私立中等高等学校協会 (吉田盛次会長) 主催の第五回航空機を利用する「修学旅行」の研究見学会は、同協会修学旅行研究調査部運営委員長新井福之助氏、(財)全国修学旅行協会前田事務局長をはじめ、私立高等学校の教職員五十名の参加を得て、十一月二十八日(午後)日本航空機装具見学会ホール、乗員訓練所等で開催され、短時間であったが、貴重な体験と、活発な意見交換によって、日航機事故で不安感がつきまとった航空機の安全性を、改めて再認識する機会を得た。

研究会は十四時見学会ホールで開会し、私立中等高等学校協会新井氏、日本航空東京支店神戸

三地区修旅連研究発表

新しい視点に立った 修学旅行のあり方

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(佐々木達三会長・京都府長岡京市長岡第四中学校長)では、昭和五十八年以来修学旅行における問題行動を重視し、この指導を通じて、修学旅行全般の改善向上を図るため研究発表会を行った。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なうべき教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善を努力し、教育効果の向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)



のぞましい修学旅行をめざして

京都府八幡市立 村山宗幸
男山中学校長

最近の子どものとりまく環境はさまざまの面で変容し、生徒の現状も多様を極め益々深刻化し、その対応も困難を極めていく。こうした背景の中で、修学旅行そのものが学校生活にとって重要なものとなってきており、より前進的な取組が要求される。とりわけ最近の修学旅行が集団的、総合的、実践的であることは他の教育活動と異なる点であるが、それが修学旅行のめざす発展的な総合学習の場にするためには、幾多の問題の壁を乗り越えなくてはならない。

予定された見学を終えての感想として、企業内教育はかありたいとの見本のように、指導は厳しさが大切であり、指導者はベテランを以て、指導の目的がよきゆきとマンツウマン方式であった。多数の乗客の生命を要するものとして、全社あげてのことに一段の研究と精進を要するものは期待した。

「修学旅行を発展的、総合的学習の場とする」ことをめざして、一年より集団訓練の場として泊のスキー学習、二年の野外訓練、三年の修学旅行と、他面教科指導の側面からも修学旅行という体験学習の中で確かなものにしていく、いわゆる三年間の見直しの中で集団とは何か、集団生活とは何かが必要であり、協調、協力が必要であることをわからせ、組織化、計画の基礎づくりを修学旅行へと発展的にとらえていく。

風紋

ようやく校内暴力行為が少し沈静化したと思つたら、急速に「ハジメ」がクローズアップされた。登校拒否、自殺者も出て、捨てておけない社会問題となり、世を挙げて取り組む姿勢を見せている。▼文部省は「早く実施調査、さらに指導状況調査に入つた。随時報告は個性の重視を、退職校長をはじめの相談役に、全小連大会は思いやりの心を育てる教育の徹底、いじめの要因は小学校の段階に潜んでいる。全小連大会は「校長自らももっと汗まみれになって努力を」▼日教組は「二斉家庭訪問を、日弁連人権擁護大会は「一校則違反に体罰」管理教育、東京・市指導主事会は「教師が心の燃焼」母親の眼で対応を、日本教育会研究発表は「いじめの顕著な学校は教師のあり方」信頼度が関係。警察庁保安部少年課は「校内暴力からいじめに移る。見て見ぬふり、はらひせ、面白半分」等々(教育新聞より)▼マスコミも便乗、民放のモイじりめ演技を放映するほどエスカレーター、いやおうなく子どもや親の不安をかき立てている。対症療法対策はもちろん必要ではあるが、根絶できるとは思われない▼学校はすべからず、長期的、持続的に人間の本性に根ざした働きをとり除く責任がある。過去の経験だが、一言授業の中では解決しにくい問題だ。無口な子どもでも適切に構成された班内では生活面話し合いはできる。班内で治まるものもある。学級で解決する問題もある。日常学級活動の積み重ねの中から子どもが育つ。全員で分担作業を通じて成功の喜びと自信が互に容認し合い、思いやりの心が育つ。

1、級、班による活動の反省、問題点
2、たか上げ、ハイキング、交流会の運営、出しものが適当であったかどうか。
3、全日程を通じ規律ある集団生活が出来たかその中で協力、協調はどうだったか。
4、教師と生徒相互の人間的なつながりが深まったか。
5、今後の課題
こうした取組について活動内容もその年、生徒の実態に応じて返って殆どの生徒の参加が継続していること、問題事象について多少の問題はあるにせよ、大幅に事故が減った事については、前進面としてとらえられるのではなかろうか。

「先生、ステキな修学旅行を
ありがとう」

生徒の笑顔を大切に... ツーリストの修学旅行。
生徒たちの青春を飾る思い出深いワンシーン。修学旅行は、より有意義な旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト
本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111(代) 営業所/国内242ヵ所(登録)/海外13ヵ所
©運輸大臣登録一般旅行業第20号

生徒指導と特別活動・修学旅行

△27▽

二 集団宿泊指導の意義・ねらい
 (前号) (1)子ども相互のふれあいによる信頼関係の深まり (2)社会性の発達
 (3)基本的生活習慣を身につける
 日常の食事、衣類の着脱、洗面から他人への言葉づかい、自分の持物の整理整頓など、毎日の生活を安全・快適に送ったり、周囲の人と円満な適応関係を保つために、どうしても必要なのが基本的生活習慣である。

集団宿泊指導と修学旅行

(2)

基本的な生活習慣を習得の大切な機会

文部省では昭和五十九年三月に小学校三年生と六年生を対象に、「児童の日常生活に関する調査」を実施したが、その結果は次のような問題点が明らかになっている。
 ○「朝ごはんをいつも食べているのは85%であるが、「朝の洗面をいつも」は68%。
 ○「ふんどの上げおしやべツ」の整理をいつもしているのは31%。
 ○「朝、家の人に起されなくもいつも、自分で起きられる」は前項の「基本的な生活習慣」として、いささかもおろそ

かにはならないことである。豊かな個性は、基礎・基本の土台の上にはじめて築き上げられるものである。(中略)このような認識に立つて、強調されなければならないのは、徳・知・体の調和ある発達であり、感性と技能の育成である。
 今まで述べてきた「基本的な生活習慣」や「生活技能」は、臨場感をもってすれば、まじめに「基礎・基本」であり、また「技能」の一端といえぬほどに大切である。
 集団宿泊においては、二十四時間の起床生活を通じて互いにありのままの自己を表現する機会が多く、文字とおり裸の付き合いを通じ、自己を率直にみつめることができる。
 第二に、自己指導力育成のためには、訓練のためにも、自己選択や自己決定の場を意図的無意図的に設定することが大切である。そのためにも宿泊指導の意義は大きい。
 家庭を離れた機会を逃さず、集団生活の歯車にあわせながら個々の生徒が個々の責任において選択・決定できる機会を、できるだけ多く用意したいものである。(つづく)

集団宿泊訓練研究協議会

自然教室等の効果的運営を

自然教育推進事業等集団宿泊訓練の効果的運営を図るため、文部省・国立オリンピック記念青少年総合センターが主催して十一月十九、二十日の両日、同センターを会場に、研究協議会が開かれた。
 参加者は、都道府県・指定都市教育委員会の担当指導主事、青少年教育行政担当者、六十年一度自然教育推進事業実施校の校長・教頭、担当教諭、国立公立青年の家および少年自然の家担当職員を約二百人。
 実践報告は、新潟市立白山小学校(実施学年第六学年、一〇二人、四泊五日)、公立山形県金峰少年自然の家、大阪市立松坂小学校(実施学年第六学年、二三名、五泊六日)、国立首根少年自然の家、下関市立名隆中学校(実施学年第一学年、一八二

名、四泊五日)、国立阿蘇青年の家、春日部市立豊春中学校(実施学年第一学年、四〇九名、一泊二日)、国立那須青年の家の四校であった。
 実施後の検討集約として、教師と子供が寝食を共にした一週間の生活で人間としての裸の付き合いができるようになった。期間については、児童は五泊六日、若しくは四泊五日、もっとも長い方がよいが38%、計86%。教師の長期の宿泊指導の自信など、自然教室の振りがわかった。

会議は、四分科会、全体会の研究会協議のほか「無人島体験の委員会」第二十回研究発表会(都営市において開催される。開業地区公立中学校修学旅行は、明年一月二十八日(火)字

文部省教科調査官 高橋哲夫

記録のビデオ視聴、長谷川純三氏の大教授の講演があった。
 全修協本部に鉄道電話
 財団法人全国修学旅行研究
 財団法人全国修学旅行研究
 協会の創立三十周年記念(第一二七回)総会は、明年三月

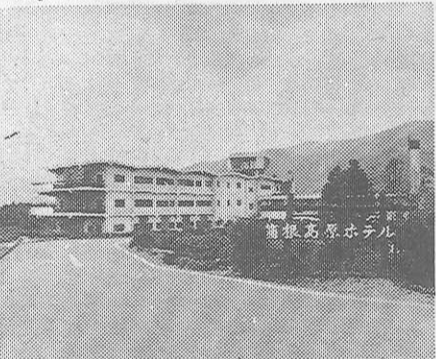
創立30周年記念総会開催

全修協
 財団法人全国修学旅行研究
 協会の創立三十周年記念(第一二七回)総会は、明年三月

第20回研究発表会開催

開業地区公立中学校修学旅行は、明年一月二十八日(火)字

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。静寂のなかに憩いのひととき。



〈修学旅行の専用旅館〉
 〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
 電話0460-4-8595(代表)

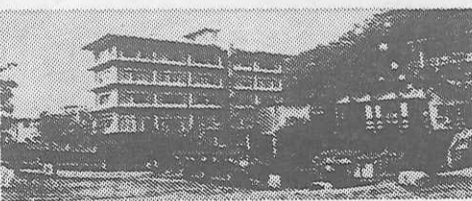
昭和61年春
 ほくれい
 新館増築「北嶺」オープン
 (130名収容)
 座禅体験で
 “心、リフレッシュ!!”

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

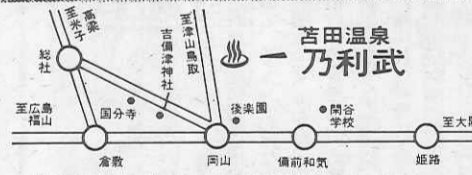


〈国際観光旅館〉
 比叡山 **延暦寺会館**
 TEL 0775-78-0047・0554
 FAX 5464-917
 0775-79-5053

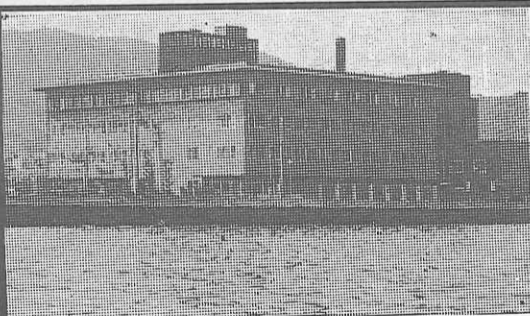
山陽路 岡山のお宿



10,000坪の庭園を擁し、おもむき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)
 昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承ります。



政府登録国際観光旅館
 とまた **乃利武**
 吉田温泉
 〒701-11 岡山市栢谷1453
 ☎086294-2321 TELEX. 5922-621



いらっしやいませ
 びわ湖国定公園
 近江路の旅へ

収容 600名様
 浴場 150名様
 設備 全館冷暖房
 防災 諸設備完備
 駐車場 バス20台

政府登録
 国際観光旅館 **びわ湖リゾートホテル**
 大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

防災布団リース

●御指導先
 京都市消防局
 近畿日本ツーリスト(株)

販売もいたします。

防災寝具製造認定工場

乃利武寝具工業所

〒612 営業所 京都市伏見区京町5丁目77-7 ☎075(601)5371(代)
 〒610-01 工場 京都府城陽市観音堂甲畑57 ☎07745(2)0191

京都市火災予防条例改正により 防災寝具の使用

☆防災寝具の使用に関する規定を盛り込んだ京都市火災予防条例改正案が昭和59年11月29日市議会で可決制定され、同年12月13日に公布、即日施行となった。(防災具の使用)

第46条の5 次の各号に掲げる防火対象物又はその部分において使用するふとん毛布、まくら、敷布、その他の寝具類は、防災性能を有するものとするように努めなければならない。

- (1) 令別表第1(5)イ並びに(6)項イ及びロに掲げる防火対象物 (5)イ旅館・ホテル又は宿泊所
- (2) 令別表第1(16)項イに掲げる防火対象物で、前号に掲げる防火対象物の用途に供する部分